

このたび、

# スマート・ファイブ

(毎月決算型)が、

モーニングスター・アワード

ファンド オブ ザ イヤー

“Fund of the Year”を

# 3年連続

## 受賞しました!



「スマート・ファイブ(毎月決算型)」は、  
2016年 バランス(安定)型 部門 最優秀ファンド賞  
2017年 バランス(安定)型 部門 優秀ファンド賞  
2018年 バランス型 部門 優秀ファンド賞  
と、3年連続でモーニングスターの『ファンド オブ ザ イヤー』受賞。

# モーニングスターによる 選定ポイント

モーニングスターHPより



授賞式の様子(2019年2月1日)

左)モーニングスター株式会社 代表取締役朝倉智也氏

右)日興アセットマネジメント株式会社 資産運用サポート推進部ホールセラーグループ 笠原紀利子

## 1 2018年は類似ファンド分類平均を上回り、 純資金流入は全ファンド中第15位

2018年のトータルリターンは▲3.88%と、類似ファンド分類平均を0.74%上回った。類似ファンド分類内では、全てのファンドがマイナスのリターンとなる中で、新興国債券やハイイールド債の組入比率を高めているファンドなどに対して優位となった。半期ベースでのトータルリターンを見ると、7-12月期に類似ファンド分類平均を1.51%上回り、上位21%(129本中第27位)となったことが寄与した。また、バランス型 部門内に属するリスクコントロール型ファンド(※)の平均を1.36%上回り、リスクコントロール型ファンド内でも勝っている。

2018年の累計純資金流入額は1,130億円と、類似ファンド分類内で134本中第2位となり、さらに全ファンドで見ても5,336本中第15位と投資家からの高い支持を集めている。

(※)バランス型 部門に属するファンドの中で、米モーニングスターカテゴリ「Japan Fund Risk Control Allocation」に該当するファンド

# 2 3年リターンは対類似ファンド分類平均で全勝、 レーティングは24カ月で4ツ星以上

設定(2013年7月)来の3年トータルリターンの推移(年率、ローリングリターン)を見ると、2018年12月末までの過去30カ月全てでプラスとなり、そのうち23カ月は2%以上のリターンを獲得している。同期間の類似ファンド分類平均との比較では全てで上回り、そのうち22カ月で同分類平均を1.5%以上上回った。投資家は投資タイミングを問わず、3年保有すればプラスのリターン、かつ相対的に優位なパフォーマンスを享受できる。



授賞会場の前にて(2019年2月1日)  
日興アセットマネジメント株式会社代表取締役社長 兼 CEO柴田 拓美と、  
資産運用サポート推進部ホールセールグループのメンバー

モーニングスターレーティングでは、過去30カ月のうち全てで3ツ星以上、そのうち24カ月で4ツ星以上を獲得している。**5つの値動きが異なる資産を組み合わせ、かつ価格変動が大きい資産の配分を少なめとするリスク・パリティ戦略により、基準価額の変動を抑えつつ、収益の獲得を目指す当ファンドの強みが発揮されている。**

# 3

## 年後半の金比率の引き上げがプラス寄与、 助言元の助言ファンドは6割が4ツ星以上

当ファンドは、助言元からリスク・パリティ戦略に基づく資産配分に関する助言を受け、日興アセットマネジメント(以下、同社)が運用を行う。同社の担当ファンドマネジャーは運用・調査経験年数が16年を超える。**2018年12月末までの過去1年間の基準価額の変動要因を見ると、組入資産のうち資産配分が47.9%(2018年12月末時点)と最も高い国内債券がプラスに寄与した。また、年後半は米国を発端とした世界株式の下落や円高にふれる局面において、安全資産とされる金の配分を2018年6月末の9.4%から同年12月末には15.5%まで引き上げたことがプラスに寄与した。**



参考までに、助言元が助言を行うバランス型の公募ファンドは当ファンドも含めて22本あり、そのうちモーニングスターレーティングの対象は14本ある。2018年12月末時点のレーティングは、4ツ星以上が約6割を占め、運用の効率性の高さを示している。

なお、当ファンドは**2016年、2017年の「ファンドオブザイヤー」**でそれぞれ最優秀ファンド賞、優秀ファンド賞を受賞しており、今回は**3年連続での受賞**となる。

出所)モーニングスター

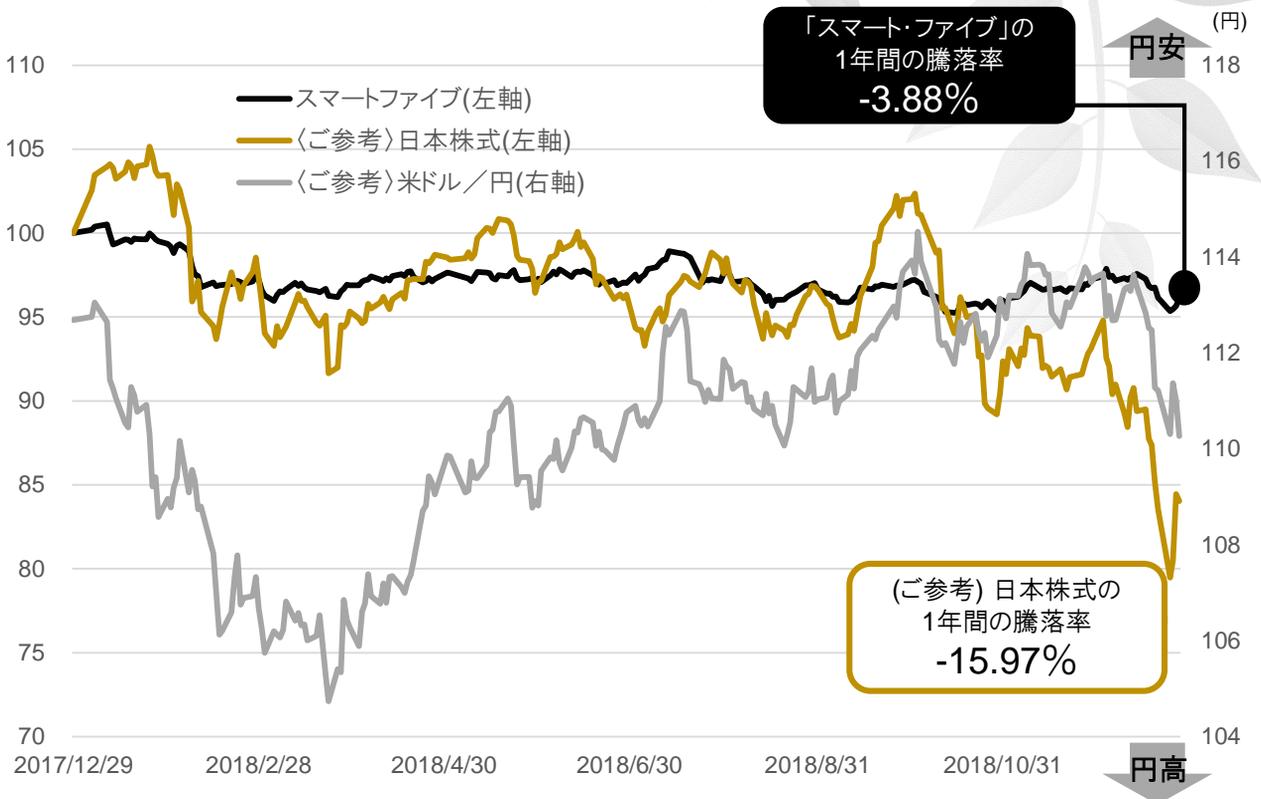
※下線およびフォントの色付けは当社による

# 「穏やかな値動き」が スマート・ファイブの魅力。

2018年はマーケットが大きく上下した1年間。そのような中で、「スマート・ファイブ」は『**下げに強く**』の特性をしっかりと発揮しました。

## スマート・ファイブの1年間の推移

2017年12月29日～2018年12月28日



※スマート・ファイブ: 毎月決算型の基準価額(信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、税引前分配金再投資ベース)  
 日本株式: Topix(配当込み)  
 ※スマート・ファイブ、日本株式は2017年12月29日を100として指数化しています。

## 第三者評価機関も注目した、 実績が裏付ける安定した値動き。

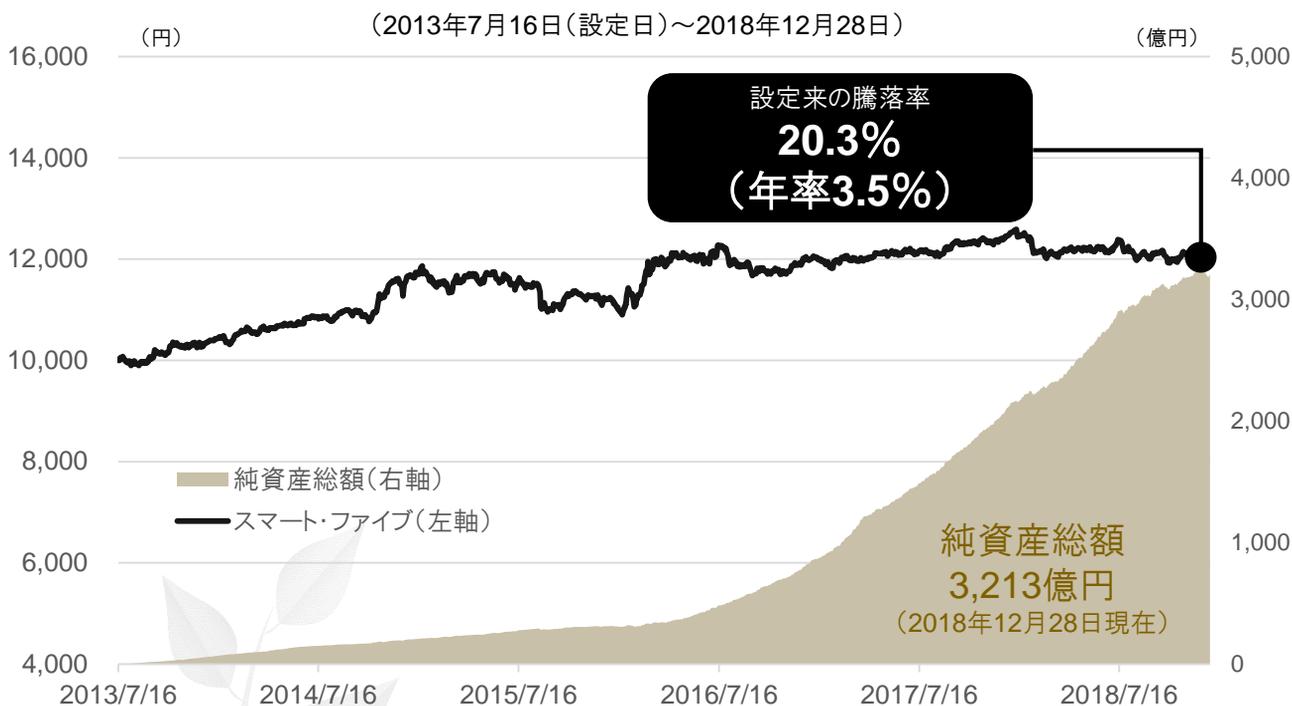
2018年の「スマート・ファイブ」の基準価額の下支えに  
 貢献したのが**超長期国債**と**金**。  
 「しっかりインカム」と「ピンチに頼れる金」という  
 2つの資産が、不透明な投資環境下に活躍しました。



※信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成 ※基準価額は、信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の税引前分配金再投資ベースの値です。※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

# おかげさまで、 純資産総額は3,000億円を超えました。

## スマート・ファイブの基準価額および純資産総額の推移



※スマート・ファイブ: 毎月決算型の基準価額(信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、税引前分配金再投資ベース)。  
 ※税引前分配金再投資ベースとは、分配金(税引前)を再投資したもとして算出した理論上のものである点にご留意ください。  
 ※純資産総額は「スマート・ファイブ(毎月決算型)／(1年決算型)」の合計です。  
 ※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

不透明な世の中だからこそこだわりの運用哲学が

**キラリと光るスマート・ファイブ。**

資産運用のぶれない土台として今後もぜひ愛顧ください！

日本国債  
一般的な短中期国債ではなく、残存10年以上の超長期国債を中心に投資。

高金利海外債券  
G20構成国の中から、金利水準が高いソブリン債に投資。

グローバル高配当株式  
世界各国の配当利回りが高い株式(高配当株式)に投資。

グローバルREIT  
世界の上場不動産投資(REIT)を中心に投資。

金  
金価格への変動をめざす金ETFなどを通じ、金に実質的に投資。

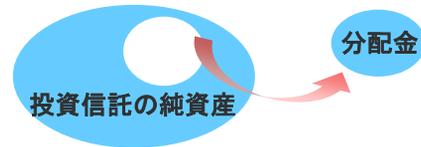
スマート・ファイブは 収益が期待される、5つの資産に 賢く分散投資します。

資産運用のぶれない土台

# 収益分配金に関する留意事項

## 投資信託で分配金が支払われるイメージ

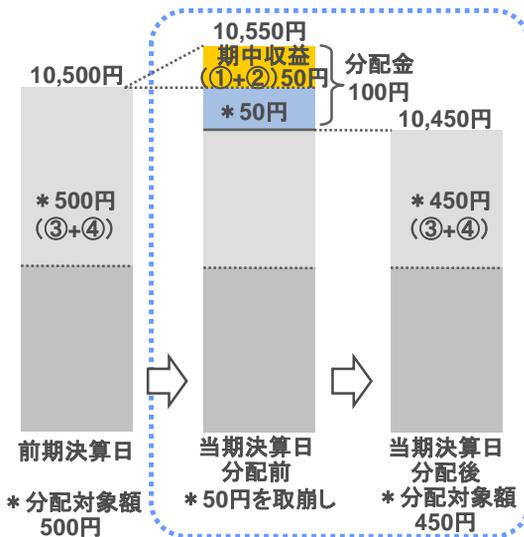
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



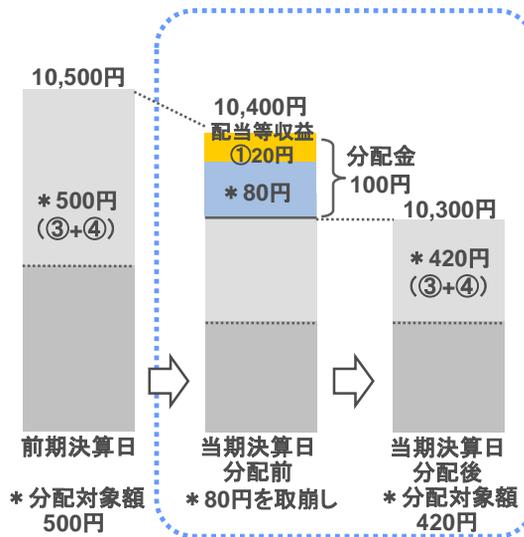
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

## 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

### 前期決算から基準価額が上昇した場合



### 前期決算から基準価額が下落した場合

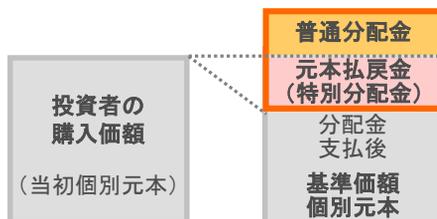


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

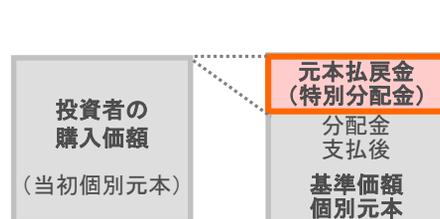
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的には元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

**普通分配金** : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。  
**元本払戻金 (特別分配金)** : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、(特別分配金) 元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

## お申込みに際しての留意事項

### ■投資信託に関する留意事項

- 投資信託は預金・貯金ではありません。
- 日本郵便株式会社は、株式会社ゆうちょ銀行から委託を受けて、投資信託の申し込みの媒介(金融商品仲介行為)を行います。日本郵便株式会社は金融商品仲介行為に関して、株式会社ゆうちょ銀行の代理権を有していないとともに、お客さまから金銭もしくは有価証券をお預かりしません。
- 当資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。投資信託取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえご自身でご判断ください。
- 投資信託説明書(交付目論見書)はゆうちょ銀行各店または投資信託取扱郵便局の投資信託窓口にて用意しております。ただし、インターネット専用ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)はインターネットによる電子交付となります。

### ■リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券、株式、不動産投信および金上場投信を実質的な投資対象としますので、債券、株式、不動産投信および金上場投信の価格の下落や、債券、株式、不動産投信および金上場投信の発行体の財務状況や業績の悪化、不動産および金地金の市況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### 【その他の留意事項】

- 当資料は、投資者の皆様へ「スマート・ファイブ(毎月決算型)／(1年決算型)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様へ帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

## お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	2028年4月10日まで(2013年7月16日設定)
決算日	【毎月決算型】毎月8日(休業日の場合は翌営業日) 【1年決算型】毎年4月8日(休業日の場合は翌営業日)
購入・換金 申込不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の 申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・ ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ 英国証券取引所の休業日 ・ ニューヨークの銀行休業日 ・ ロンドンの銀行休業日
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

## 手数料等の概要

投資家の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

### < 申込時、換金時にご負担いただく費用 >

購入時手数料	購入時の基準価額に対し <u>2.16%(税抜2%)以内</u> ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

### < 信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用 >

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対し <u>年率1.4479%(税抜1.3525%)以内</u> が実質的な信託報酬となります。 信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.08%(税抜1%)、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.3679%(税抜0.3525%)以内となります。 受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、委託会社が算出した上限値です。 当該上限値は、投資対象とする投資信託証券の想定される組入比率に基づき委託会社が算出したものですが、当該投資信託証券の変更などにより見直すことがあります。
その他の費用・ 手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額</u> が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※ 投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに  
応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 委託会社、その他関係法人

---

委託会社: 日興アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

投資顧問会社: 日興グローバルラップ株式会社

受託会社: 三井住友信託銀行株式会社

販売会社: 株式会社ゆうちょ銀行  
登録金融機関 関東財務局長(登金)第611号  
加入協会:日本証券業協会  
【金融商品仲介業者】日本郵便株式会社  
関東財務局長(金仲)第325号

### 【Morningstar Award “Fund of the Year”】

---

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として、モーニングスター独自の定量分析、定性分析に基づき、2016年、2017年、2018年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。

バランス(安定)型 部門は、2016年12月末において当該部門に属するファンド109本、2017年12月末において当該部門に属するファンド142本の中から選考されました。バランス型 部門は、2018年12月末において当該部門に属するファンド1,030本の中から選考されました。

Morningstar Award “Fund of the Year 2016” “Fund of the Year 2017” “Fund of the Year 2018”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc.に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。